

「科学博物館で学ぶ」

担当教員名 谷本 勉

コース概要

日程	2017年8月～2017年9月
場所	各地の博物館等
参加人数	21人

コースのねらい

関東地方の博物館を環境問題等を学ぶための現場（フィールド）として自在に使いこなし、生涯学習の場となるようにすることを目的とします。

内容

「科学博物館で学ぶ」は、グループ学習ではなく、個人参加を原則とします。参加者がそれぞれ立案した計画に従って学習していきます。具体的には、各地の科学博物館でどのような参加型の企画・セミナーが行われているかを調べ、参加するイベントを決定し、学習していきます。

例年6月中旬の土曜日の午後、最初の説明会を行います。この説明会にはできるだけ希望者全員の参加を認めています。ここで詳細な実施要領を解説します。その後、できるだけ夏期休暇に入る前に学習計画書を作成し、担当教員と相談しながら、参加する学習内容についての理解を深めます。

学習計画に際しては、1つのテーマが4時間以上のものを1日分の学習として認め、それ以下のものを半日分として、合計4日分の学習をすることを義務づけています。多くの場合8月中の土・日を何度か使うことになり、夏期休暇の他の計画との折り合いをつけることが重要になります。

今年の主な参加企画には次のようなものがあります。

- 8月5日「国立科学博物館附属自然教育園」：学習のテーマ「大学生のための菌類学入門」
- 8月6日「神奈川県立生命の星・地球博物館」：学習のテーマ「パソコンで鉱物結晶図をかいてみよう」
- 8月8日「観音崎自然博物館」：学習のテーマ「夏期磯の生物観察会」
- 8月9・10日「国立科学博物館」：学習のテーマ「古植物研究法講座」
- 8月12日「千葉県立中央博物館」：学習のテーマ「化石の模型を作ろう」
- 9月10日「国立科学博物館」：学習のテーマ「虫の生活を観察する会」

ある参加者の感想

「自然環境から学ぶことは色々あり、その学ぶ場所としては学校よりも博物館が適していると私は考えている。それは学校では決められた座学の学習が大部分を占め…それに対し博物館では学校では学ぶことのできない環境とのふれあい部分を補うことができる。」



ウミクワガタ（観音崎）



カメムシタケ



地形模型（富士山）



化石模型（アンモナイト）